

セミナー・イベント

【県内企業視察会】

1. 開催日時：11月1日(金) 9:50～12:30
2. 参加者数：76名
3. 視察コース：参加者はそれぞれ視察先企業から事業概要について説明を受けた後、工場や事業所内を視察した。

Aコース：立山科学グループ (23名参加)

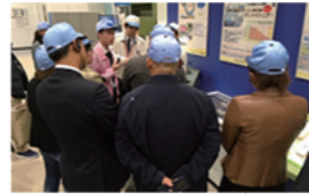
国内・海外合わせて14社の企業から構成され、電子部品、電子機器、産業用生産装置、精密部品、ソフトウェア開発・サービス、新エネルギーなどさまざまな分野の設計・開発・製造・販売に力を発揮する企業。製品ラインの見学では、センサー類の機能や無線機器の用途について担当者に質問し、今後の事業の参考にする様子がうかがえた。

Bコース：株式会社能作 (20名参加)

400年の歴史を誇る高岡銅器の伝統的な鑄造法に加え、シリコン鑄造法などの新たな鑄造方法を研究開発している鑄物メーカー。2012年には日本鑄造工学会の「Castings of the Year賞」、2013年には「ものづくり日本大賞経済産業大臣賞」、2017年には本社新社屋が日本サインデザイン協会の「日本サインデザイン賞大賞(経済産業大臣賞)」を受賞。見学後の質疑応答は活発に交わされ、高度な伝統技術への関心の高さがうかがわれた。

Cコース：株式会社不二越 (33名参加)

ロボットを核にした総合機械メーカー。材料から部品、工作機械、産業用ロボットまで高度な技術を有し、多様なソリューションでものづくりの発展に貢献する企業。ショールームの見学では、数多くの質問が寄せられ、最先端の技術への関心の高さがうかがえた。



Aコース:立山科学グループ



Bコース:株式会社能作



Cコース:株式会社不二越

【環境セミナー】

1. 開催日時：10月31日(木) 10:30～12:00
2. 開催場所：西館 メインステージ
3. 講師：株式会社富士通総研 コンサルティング本部
ビジネスレジリエンスグループ プリンシパルコンサルタント 大谷 茂男 氏
4. 演題：なぜBCP/BCMが必要なのか ～中小企業強靱化法への対応と、実効性を高める取組みとは～
5. 概要：実効性の高いBCM活動への考え方を紹介。BCM活動の必要性、防災とBCPの違い、世の中の最新動向を踏まえた取り組み等について、ポイントを絞り説明した。また、本年の7月に施行された中小企業強靱化法を踏まえ、「事業継続力強化計画」のポイントを紹介した。
6. 参加者数：70名



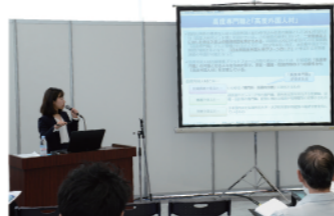
【中国・インドのイノベーションとビジネス環境セミナー】

1. 開催日時：10月31日(木) 13:00～14:00
2. 開催場所：西館ホワイエ プレゼンコーナー
3. 講師：第1部 ジェトロ大連事務所 所長 水田 賢治 氏
第2部 ジェトロベンガルール分室 室長 鈴木 隆史 氏
4. 演題：加速する中国・インドのイノベーションとビジネス環境
第1部 中国東北3省のイノベーションと新エネルギー車産業の現状
第2部 世界のイノベーションを支えるインドとの連携可能性
5. 概要：第1部 深圳や上海だけでなく、大連のイノベーション企業に関心を抱く日本企業が増えつつあり、新エネルギー車産業でも新たな動きをみせる『東北3省の今』を紹介した。
第2部 "インドのソフトと日本のハードが組めば、奇跡を起こすことができる"ソフトウェアを中心に、今やGAFAといった多国籍企業も研究開発拠点を置くインドとの新たな連携可能性を紹介した。
6. 参加者数:19名



【高度外国人材活用セミナー】

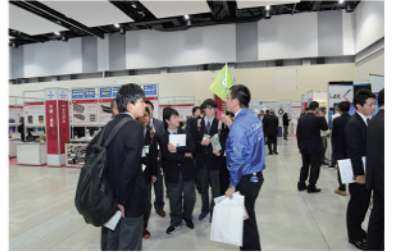
1. 開催日時：11月1日(金)14:00～15:00
2. 開催場所：西館ホワイエ プレゼンコーナー
3. 講師：ジェトロ・高度外国人材活躍推進コーディネーター 脇村 美緒 氏
4. 演題：外国人材の活用 ～高度外国人材を中心に～
5. 概要：「高度外国人材」がどのような人材で、どのように採用から活躍へつなげていくのか段階ごとに説明するとともに実際に活用されている中小企業の事例を紹介した。
6. 参加者数：13名



【企業研究ラリー】

県内外の学生・生徒が展示ブースを回り、ものづくりの魅力を発見することを目的に開催した。

1. 参加者：1,874名(3日間合計)
2. 参加校：(県内) 計13校の学生・生徒
 - ・大学 富山大学、富山県立大学、富山国際大学
 - ・高専 富山高等専門学校
 - ・専門学校等 富山情報ビジネス専門学校
 - ・高校 富山工業高校、高岡工芸高校、魚津工業高校、砺波工業高校、不二越工業高校、呉羽高校、魚津高校、高朋高校
- (県外) 計6校の学生
 - ・大学 関西学院大学、名城大学、高崎経済大学、静岡大学、金沢大学、金沢工業大学



【科学ものづくり教室】

1. 開催日時：11月2日(土) 10:30～16:00
2. 開催場所：東館 科学ものづくり教室コーナー ※こどもコマづくり体験のみ西館ホワイエで開催
3. 内容：11プログラム(前回10プログラム)
4. 参加者：259名(前回199名)



科学ものづくり教室	
①ふしぎなおもちゃ マグナス・カップ 協力:富山県立大学 所要時間:40分 全5回	⑩高山製バズル 協力:北陸職業能力開発大学校 所要時間:20分 全9回
②すぐできる!お手軽カップモーター 協力:富山県立大学 所要時間:45分 全5回	⑪イルミネーションライト 協力:北陸職業能力開発大学校 所要時間:20分 全9回
③レモン電池で作ってオルゴールをならそう! 協力:富山県立大学 所要時間:30分 全7回	⑫手作り万華鏡 協力:富山県立大学 所要時間:30分 全6回
④アルミフレームで工作体験・ミニロボットを作ろう! 協力:富山県立大学 所要時間:30分 全4回	⑬ハンドパワーでプロペラを回そう 協力:富山県立大学 所要時間:30分 全6回
⑤強くて丈夫なペーパーバッグを作ろう! 協力:富山県立大学 所要時間:45分 全3回	⑭七宝燈を作ってみよう 協力:富山県立大学 所要時間:60分 全4回
	⑮こどもコマづくり体験 協力:富山県立大学 所要時間:15分

【ロボットステージ】

- 《ロボットチアリーディング》
1. 開催日時：11月2日(土)
 - ①10:30～10:45 ②11:45～12:00 ③13:00～13:15
 - ④14:15～14:30 ⑤15:30～15:45
 2. 開催場所：西館ホワイエ 特設会場
 3. 協力：株式会社富山村田製作所、株式会社村田製作所



【全日本製造業コマ大戦 とやま特別場所2019】

1. 開催日時：11月2日(土) 10:15～15:30
2. 開催場所：予選・決勝:西館 メインステージ
3. 参加チーム：県内外の企業・大学・高等専門学校等39チーム
4. 結果：優勝 日之出化成株式会社
準優勝 タカタ精密工業株式会社
第三位 株式会社フジタ×タカノ株式会社
第三位 株式会社モビテック
5. 主な成果：
 - 中小企業の連携強化 →連携強化の足掛かりの機会創出
 - 大学と企業間の交流 →当日の運営に学生も携わった。
 - 地域社会への製造業に関する関心強化 →様々な年齢層の観客が観戦した。
 - 将来の製造業就業人口の増加に対する寄与
→こどもコマづくり体験を通して約80名の子どもに魅力発信
 - 地域に根差す「産・学・官・金」連携の必要性を訴求
→出場関係者・観客約250名に対して十分に伝えることができた。

